

減災のための取組項目(概ね5年間)					北陸地整	新潟県	新潟地方気象台	新潟市	長岡市	三条市	加茂市	見附市	燕市	五泉市	弥彦村	田上町	北陸農政局	森林管理署	森林整備センター
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容														
1. ハード対策の主な取組																			
■洪水を河川内で安全に流す対策																			
	①	・河道掘削 ・侵食対策 ・浸透対策 ・築堤	W,X	引き続き整備	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進	●	●	●											
	②	本川と支川の合流部等の対策(中ノロ川・加茂川・下条川)	W,X	順次実施		●	●												
	③	信濃川下流及び中ノロ川の治水安全度バランスを考慮した蒲原大堰・中ノロ川水門の施設操作運用の検討、調整	Y	順次実施	施設操作運用の検討、調整	△	●												
	④	多数の家屋や重要施設等の保全対策(中ノロ川)	W,X	順次実施	信濃川と支川合流点付近の氾濫の危険性が特に高い区間において、土砂の維持掘削及び樹木伐採の推進		●												
	⑤	重要インフラの機能確保	W,X	順次実施	病院、市役所等の重要インフラについて、主要降雨等による浸水被害を防止軽減するため河川改修等の対策を実施	●	●												
■流出抑制・内水対策																			
	①	・調整池等の整備 ・田んぼダムの活用 ・クレークの整備 ・農業用ため池の洪水吐スリットの設置 ・農業用排水施設の更新整備、耐水化 ・下水道施設の整備、耐震化、耐水化	T,W	順次整備	調整池等の整備			●	●	●	△	○	△	-	△	●			
					田んぼダムの整備・活用		●	●	●	●	●	△	-	●	●				
					農業用排水施設の更新整備、耐水化		●	○	-				-		△	△			
					下水道施設(雨水管、雨水ポンプ、雨水貯留施設等)の整備、耐震化、耐水化			●	●	●	△	●	●	●	△	●			
	②	上流域における森林整備、治山対策			森林整備、治山対策													●	
	③	流域の雨水貯留機能の向上		引き続き実施	森林整備・治山整備		●			-				-					●
	④	雨水貯留浸透施設	T,W	順次実施	各戸貯留、池沼及びため池等			●	●	-				-					
				順次実施	透水性舗装、防水ゲート、止水板等			●	●	-				-					
	⑤	排水機能の配備	T	順次整備	排水ポンプ場の整備等の、排水ポンプ車の整備	●	●	●	●	-			●	-	△		△		
■危機管理型ハード対策																			
	①	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	Z	H28年度から順次整備	堤防天端の保護	●	■												
					堤防裏法尻の補強	●													
■避難路・避難場所の安全対策の強化																			
	①	砂防堰堤等の整備		H30年度から順次整備			●												
	②	避難通路等の整備	D	順次整備						-			●	-	△				
■土砂・洪水氾濫への対策																			
	①	砂防堰堤等の整備		H30年度から順次整備			●												
	②	保安林の適正な配備等		順次整備														●	

減災のための取組項目(概ね5年間)				北陸地整	新潟県	新潟地方気象台	新潟市	長岡市	三条市	加茂市	見附市	燕市	五泉市	弥彦村	田上町	北陸農政局	森林管理署	森林整備センター
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容													
■流域対策に関する取組																		
		①平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討を実施	D,E	引き続き実施	平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討	△												
		②流域における氾濫被害軽減に向けた対策の検討を実施	D,E	H28年度から検討	外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	△	△	○	△	●	■	△	●	△	●	△	○	
		③ダム等の洪水調節機能の向上・確保(維持管理)	W	順次実施			●											
		④二線堤整備	D,E	順次実施						-								
		⑤家屋移転、災害ハザードエリアからの移転	D,E,F	順次実施						-								
		⑥宅地嵩上げ	D,E,F	順次実施			●			-								
		⑦浸水防止施設等の整備	D,E,F	順次実施						-								
		⑧二線堤保全	D,E	順次実施		●				-								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
		①災害対応活動の拠点として、資機材の保管、活動スペースを確保するとともに、施設の平時利用を考えた防災拠点の整備	Q	引き続き整備	河川防災ステーションの整備	■		■										
		②新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q	H28年度から検討	水防資機材の確認・整備	●	●	●	●	●	△	△	●	○	●			
					新技術を活用した水防資機材の検討・配備	▲	△	△		-			●		△			
		③円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置を行う	J,L	H28年度から順次整備	CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置	●	●		●				-					
		④洪水予測や水位情報の提供の強化(ダム放流警報設備等の耐水化や改良等、水文観測所の停電対策)	J	順次検討	水害リスクラインによる予測及び危機管理型カメラ、水位計等の設置による監視体制の整備	■	●											
		⑤庁舎等の耐水対策	S	H28年度から順次検討	庁舎等の耐水対策	●	■	■		△		●		-	△	△		
		⑥庁舎等の停電対策	S	順次検討		■	●											
		⑦災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	S	順次検討	災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	●	●		-	-								
		⑧排水機場の耐水化	T,U	H28年度から順次検討	排水機場の耐水化		○	○		△	△	●				△	△	
		⑨応急的な退避場所の確保	E	順次検討	安全な避難場所への避難が困難な地域における避難場所の整備等	△			△	●	●	△	●	△	△	△		

減災のための取組項目(概ね5年間)					北陸地整	新潟県	新潟地方気象台	新潟市	長岡市	三条市	加茂市	見附市	燕市	五泉市	弥彦村	田上町	北陸農政局	森林管理署	森林整備センター	
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容															
2. ソフト対策の主な取組 ①信濃川下流等の大規模水害の特徴を踏まえた避難のための取組																				
■情報伝達、避難計画等に関する事項																				
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信、防災情報の充実(水位、気象情報、土砂災害危険度情報、カメラ映像、ホットラインなど)	G,H,I,J	順次実施	河川防災情報等のシステム改良 スマートフォンを活用した情報発信 SNSを活用した情報発信 信濃川下流域情報プラットフォームの拡充 水位・気象情報等の情報発信 カメラ映像の情報提供 自治体への情報伝達(ホットライン) 防災アプリ・ラジオ・メールの更なる普及のための周知・広報 津波用同報無線の活用 FMラジオの配備事業 Wi-Fiステーション整備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		②危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	H,I	順次実施	水害・土砂災害に関する情報を統合して提供	△	●	●												
		③洪水予測や河川水位の状況に関する解説	B,H,I,J	順次実施	専門家が、テレビ等のメディアでリアルタイムの状況を解説	●														
		④防災施設の機能に関する情報提供の充実	H,I	順次実施		●	●													
		⑤ダム放流情報を活用した避難体系の確立	H,I	順次実施	避難行動に繋がるダム放流情報の内容や通知タイミングの改善、河川水位情報等の活用などを河川管理者とダム管理者が共同で実施	△	●	△	●	●	△	●		△						
		⑥関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備	C	(整備)順次実施(検証・改善)引き続き実施	タイムラインの整備・改善・支援	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	△	△			
		⑦避難情報の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C	(整備)順次実施(検証・改善)順次実施	タイムラインの整備・改善・支援	●	■	○	●	●	●	●	●	●	●	△	△			
		⑧想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図(ダム下流部を追加)、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	D,E,F	H28年度から順次実施	洪水浸水想定区域図・家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表 氾濫シミュレーションの公表	■	■													
		⑨立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E,F,K	H28年度から順次実施	浸水想定区域の浸水深、水継続時間・家屋倒壊危険区域の情報提供 立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討 屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討 避難所ごとの浸水深・避難可否の確認 自主防災組織の育成・強化	■	■		△	■	●	■	●	△	●	△	△			
		⑩参加市・町・村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	H28年度から順次実施	計画規模洪水・想定最大規模洪水に対する広域避難計画の検討・策定・支援	●	●	○	△	●	△	△	●	△	△	△	△			
		⑪広域的な避難計画や土砂災害警戒区域等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E,F	H28年度から順次実施	洪水ハザードマップの改良・周知	●	●		●	■	●	■	●	△	●	●	●			
		⑫水位周知河川の見直し及び追加指定の検討	B	H30年度から検討	水位周知河川の見直し及び追加指定の検討		●													
		⑬水位予測の検討及び精度の向上	B,M	H28年度から検討	水位予測の検討及び精度の向上	●	●													
		⑭気象情報発信時の「警報・注意報(今後の推移)」や「早期注意情報(警報級の可能性)」等の改善	J	H29年度	気象情報発信時の「警報・注意報(今後の推移)」や「早期注意情報(警報級の可能性)」等の改善		●													
		⑮流域雨量指数「洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)」を活用した水害危険性周知を検討	B	引き続き実施	流域雨量指数「洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)」を活用した水害危険性周知を検討		●	●	△					△	●					
		⑯関係機関が連携した訓練の実施	C,I,J	引き続き実施	洪水対応演習、水防訓練等の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	-	-
		⑰市町村庁舎や災害拠点病院の施設関係者への情報伝達体制、方法について検討	I,K	順次実施	水防情報の伝達	●	●		●	●	△	●	△	●	●					
		⑱避難対策としての農業用ため池のハザードマップの作成	D,E,F	順次実施	農業用ため池のハザードマップの作成		■		●	■	■	■	●	△	△	●				

